

専門科目 産業環境保健学分野

(博士後期課程)

科目名	産業保健学特論	code number : OEH 321	選択必修	2 単位
-----	---------	--------------------------	------	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	月曜 1,2時限	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

労働を取り巻く環境に対する社会の要求がより厳しくなるなか、事業者の期待に応えられるだけの高い能力を持った産業医・産業看護職・産業衛生技術職等の必要性が高まっている一方で、実務能力に関して高度な教育・訓練を受ける機会を提供できる機関は不足している。そこでこうした社会的要請に応えられるだけの実践的な専門知識を持った産業医・産業看護職・産業衛生技術職を育成するためのカリキュラムを提供する。ケースを踏まえた議論も行い、労働衛生関連法規ならびに国の指針・通達についての専門的な知識と理解、労働衛生管理体制の確立、労働衛生マネジメントシステムの構築と運用、有害業務の自主的な管理の方法、健診の実施と事後措置、職場改善を含めた作業管理実務、より効果的な衛生教育の実施のための方法等を学ぶ。産業医や労働衛生コンサルタントとしても活躍できる人材、あるいは自立した産業保健活動ができる高度な産業看護職や産業衛生技術職としての人材育成を目指す。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

産業医・産業看護職・産業衛生技術職など産業保健(労働衛生)を専門とする者が、当該領域の経験や知識を体系化し、産業現場の問題を解決できる能力を身につける。

【行動目標 (SBO)】

1. 労働基準法・労働安全衛生法を中心とする産業保健に関連する法体系および制度を説明できる。
2. 産業保健の5管理:作業環境管理、作業管理、健康管理、健康教育、総括管理を理解し、実践に応用できる。
3. 産業保健に関連するデータを解析し、職場の産業保健活動に活用できる。
4. 産業医、産業看護職、産業衛生技術職等の職務を理解し、共同して産業保健活動ができる。
5. 各職場における個別な問題について、問題の把握から解決策の立案、評価までを計画し、実践に結びつけることができる。
6. 国内外の近年の産業保健の課題と動向について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) レポート(50%)
- (2) 発表(30%)
- (3) 議論への参加(20%)

注) レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。出席点による加点は行わないが、欠席・遅刻は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・毎回授業開始時に資料として配布する。

5. 参考書

- ・中央労働災害防止協会. 労働衛生のしおり、中央労働災害防止協会 (毎年改訂)。

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』を通読する。
- ・前回までに学んだ5管理からなる産業保健の内容を復習し、当日の講義のキーワードについての予習が望まれる。
- ・当該期間に30時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・講義、ケーススタディ、グループワーク、討論を適宜組み合わせる。
- ・ケースは、受講生の担当の個々の職場での事例を取り上げる。
- ・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
- ・「帝京大学産業保健高度専門職養成の大学院プログラム」受講生も参加する。

<授業計画>

産業保健学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/13(月)	1	福田 吉治 教授	イントロダクション:産業保健学とは何か 労働安全衛生法令、5管理、産業保健専門職の役割、統括管理、労働衛生マネジメントシステム
2	9/13(月)	2	金森 悟 講師	健康管理 健康診断と事後措置、健康増進、多職種連携
3	9/17(金)	1	津田 洋子 講師	作業環境管理・作業管理 作業環境管理の考え方、作業環境測定、作業環境改善、作業管理の考え方と実際、人間工学
4	9/17(金)	2	渋谷 克彦 講師	産業保健の今日的課題 メンタルヘルス・過重労働対策、働き方改革、健康経営
5	9/27(月)	1	宋 裕姫 講師(非)	産業保健の実際(1)
6	9/27(月)	2	宋 裕姫 講師(非)	産業保健の実際(2)
7	10/4(月)	1	小木 和孝 教授(客)	産業保健の世界動向
8	10/4(月)	2	吉川 徹 准教授(客)	自主対応型労働安全衛生活動 人間工学を利用したメンタルヘルスの一次予防対策の「職場ドック」方法による職場の良好事例に学ぶ取り組み
9	10/11(月)	1	金森 悟 講師 桑原 恵介 講師	ケーススタディ(3):健康管理
10	10/11(月)	2	金森 悟 講師 桑原 恵介 講師	ケーススタディ(4):健康増進
11	10/18(月)	1	津田 洋子 講師 加藤 美生 助教	ケーススタディ(1):作業環境管理
12	10/18(月)	2	津田 洋子 講師 加藤 美生 助教	ケーススタディ(2):作業環境
13	10/25(月)	1	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	ケーススタディ(5):メンタルヘルス
14	10/25(月)	2	渋谷 克彦 講師 石倉 恭子 講師(非)	ケーススタディ(6):過重労働対策
15	11/1(月)	1	福田 吉治 教授 津田 洋子 講師 渋谷 克彦 講師 金森 悟 講師	総括、まとめ